

続

北斎の立見楽を聴く

おと

冬の吉原・隅田川



葛飾北斎「吉原遊郭の新年」大判錦絵5枚続のうち

第一部

新内流し 新内剛士 新内伸之介
 花街の唄と踊り
 舞踊 花柳幸舞音 藤蔭静寿
 長唄 杵屋勝貞規
 三味線 杵屋勝くに緒 杵屋勝壽

第二部

新内《明烏夢泡雪》
 〈浦里雪責の段〉
 浄瑠璃 新内剛士
 三味線 新内伸三郎(人間国宝) 新内伸之介
 清元《其小唄夢廓》
 〈鈴ヶ森刑場の場〉〈新吉原仲の町の場〉
 浄瑠璃 清元一太夫 ○清元志寿子太夫
 三味線 清元栄吉 清元美十郎



葛飾北斎「北斎漫画」十一編より「とらとら」

葛飾北斎「北斎漫画」初編より「鳥追女」

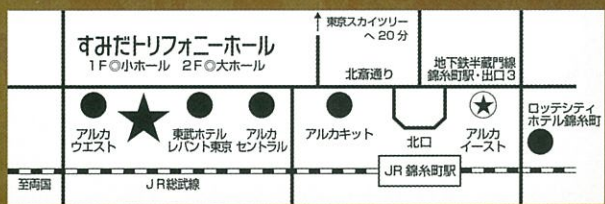
*画像の作品はすべて墨田区蔵

平成25年1月26日(土) 午後1時30分開場 午後2時開演



すみだトリフォニーホール 小ホール
 入場料金(全席指定) 一般 3,000円
 墨田区在住在勤在学、トリフォニークラブ会員 1,500円

■トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
 ■トリフォニーホールチケットオンライン <http://www.triphony.com>
 《すみだトリフォニーホール》公式twitter! [@TriphonyHall](https://twitter.com/TriphonyHall)



Access JR総武線・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」より徒歩5分
 東京スカイツリーより徒歩20分

【企画監修】茂手木潔子
 【主催】公益財団法人 墨田区文化振興財団
 【共催】墨田区

お問い合わせ

続 北斎の音楽を聴く

茂手木潔子(有明教育芸術短期大学教授)

平成21年に始まった「北斎の音楽を聴く」全3回シリーズは、好評のうちに終えることができました。本シリーズは、「すみだ北斎美術館」開館に向けてのプロムナードコンサートでもありますが、平成24年度から「続 北斎の音楽を聴く」として、新たな視点で北斎の時代の音楽世界を再現するシリーズを始めます。

続編の第1回は、「冬の吉原・隅田川」と題して花街の世界を取り上げます。第一部では新内流しに続いて、花柳幸舞音、藤蔭静寿による花街の情緒あふれる舞と遊びです。「廓さわぎ」で花街の賑わいを、また「とらとら」遊びも楽しんで下さい。第二部では吉原の恋模様を描いた新内と清元の代表的な演目を、じっくりお聞き頂きます。新内は人間国宝新内仲三郎と新内剛士父子の演奏で《明烏夢泡雪》を、清元は清元志寿子太夫と清元一太夫父子で《其小唄夢廊》です。上演されることが少ない清元の「新吉原仲の町の間」も登場します。親子の競演とともにご期待ください。

|| 主な出演者紹介 ||



新内剛士 (しんない・たけし)

新内節浄瑠璃。東京藝術大学音楽学部邦楽科、同大学院音楽研究科博士課程修了(音楽博士)。
新内節の富士元派家元・新内仲三郎の長男。6歳より父に習い始め、1992年より舞台活動を開始。歌舞伎公演や国立劇場、三越劇場、NHKテレビ、深川江戸資料館等に出演。「寿猫」「今昔想曲恋嫁入」「窈変源氏物語～夕顔、玉鬘、葵～」「かちかち山」「土御門大路」等様々な曲を作曲。また、他ジャンルとのセッションも幅広く行っている。2004年常英賞、2009年第22回清栄会奨励賞。

新内仲三郎 (しんない・なかさぶろう)

新内節三味線。人間国宝。新内節の伝統を受け継ぐ第一人者であるとともに、伝統音楽の世界発信、日本音楽の横のつながりを広げる様々な創造活動も行なっている。1955年新内伸造に入門。1984年六代目富士元派家元を継承。1989年文化庁芸術祭賞、1992年第13回松尾芸能賞優秀賞、1994年第44回芸術選奨文部大臣賞、1998年第18回伝統文化ポーラ賞、2001年重要無形文化財(人間国宝)に認定、2003年紫綬褒章、2010年旭日小綬章。



花柳幸舞音 (はなやぎ・さちまいね)

花柳流師範。日本大学芸術学部演劇学科日舞コース卒業。幼少より故花柳幸衛に師事し、大学卒業と同時に故花柳照奈に師事。現在、花柳寿南海(文化功労者、人間国宝)に師事。大学の卒業制作作品で川野希典賞、2009年・10年・12年日本舞踊協会主催「各流派合同新春舞踊大会」奨励賞、2011年同大会大会賞。

藤蔭静寿 (ふじかげ・しずひさ)

藤蔭流師範。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。幼少より母から手ほどきを受け、現在三世藤蔭静枝に師事。2006年・07年・10年日本舞踊協会主催「各流派合同新春舞踊大会」奨励賞、2008年同大会大会賞、第5回千葉市芸術文化新人賞。

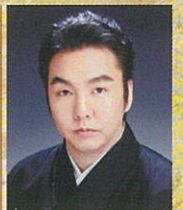


清元志寿子太夫 (きよもと・しずこだゆう)

清元浄瑠璃。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。1961年今藤綾子に長唄を師事。1983年父清元榮三郎に入門、祖父清元志寿太夫にも師事。同年清元志寿子太夫を名乗り、帝国劇場にて《三千歳》で初舞台。アメリカ、フランス海外歌舞伎公演に参加。1996年清栄会奨励賞。2004年より東京藝術大学音楽学部非常勤講師。清元座SHINKA同人。荻江露秀、都志中としても活動。また、本名の柿澤秀一で『邦楽百科事典』(音楽之友社)の清元関係項目執筆など、幅広く活動。

清元一太夫 (きよもと・いちたゆう)

清元浄瑠璃。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。父は清元志寿子太夫、祖父は清元榮三郎、曾祖父が清元志寿太夫、義父に長唄三味線の今藤政太郎がいる。2歳で曾祖母の清元延香に手ほどきを受け2歳7ヵ月で初舞台。荻江節唄方も務める。同時に清元志寿太夫からも教養を受ける。平成元年より清元榮三郎に師事。1995年1月幼名・清元一を許され、1998年9月に清元一太夫を名乗り歌舞伎公演初参加。現在、歌舞伎や日本舞踊の国内および海外公演、NHKテレビ、ラジオなどで活躍中。



清元栄吉 (きよもと・えいきち)

清元三味線。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。大学在学中、清元を清元榮三郎・清元志佐雄太夫に師事。ほかにジャワ・ガムラン、伽椰琴、雅楽、長唄や常磐津も履修。卒業後、清元榮三郎に入門。1989年七世宗家清元延寿太夫より清元栄吉の名を許され、8月、公文協歌舞伎公演で初舞台。東京藝術大学非常勤講師も勤め、NHK大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」「功名が辻」の邦楽指導担当ほか様々な分野で活躍。2003年第17回清栄会奨励賞、2012年第33回松尾芸能賞邦楽新人賞、2012年度第16回日本伝統文化振興財団賞。

企画
監修

茂手木潔子

日本音楽研究。東京藝術大学大学院修了後、国立劇場芸能部演出室にて伝統芸能公演の助手を務め、その後25年間の上越教育大学勤務を経た後、現在、上越教育大学名誉教授、有明教育芸術短期大学教授。歌舞伎黒御簾音楽の楽器の研究、越後酒屋唄の保存伝承活動、そして、葛飾北斎が描いた音楽場面についての研究を行っている。すみだ北斎美術館開館に向けての本シリーズ企画監修を担当。